

言語活動の工夫

～6年国語・自分の意見を提案する意見文を書こう～

新潟市立浜浦小学校
教諭 中村 薫子

1 はじめに

本実践では、学習指導要領に言語活動例として示されている「自分の課題について調べ、意見を記述した文章を書く」活動を中心に位置付ける。意見文を書くためには、自分の意見を明確にもつこと、その意見を支える根拠を位置付けて構成や記述を工夫していくことが大切である。

高学年になると書くことに抵抗を感じる児童の苦手感はより強くなっている。そのような児童は、何を書けばよいのか分からない、どう書けばよいのか分からないという悩みをもっている。そのような児童にも、自分の力で書けたという自信をもたせる学習展開を構想したい。そこで、単元の中に意図的に意見交換の場を設定すること、また、共通題材で練習をしてから自由題材で意見文を書く学習へと進めていくことにより、自分の意見を明確にして、効果的な構成で意見文を書く学習を展開したいと考えた。

2 実践の概要

(1) 単元名 自分の考えを提案する意見文を書こう
～『わたしの意見』を書こう～

(2) 単元の目標

- 書く事柄を整理し、構成を考えて意見文を書くことができる。

(3) 単元の構想

教科書単元『わたしの意見』を書こう(学校図書 6年上)を中心に、その前に配置されている「新聞記事を読み比べよう」の単元とあわせて、構成を考えながら自分の考えを提案する意見文を書く学習を構想した。

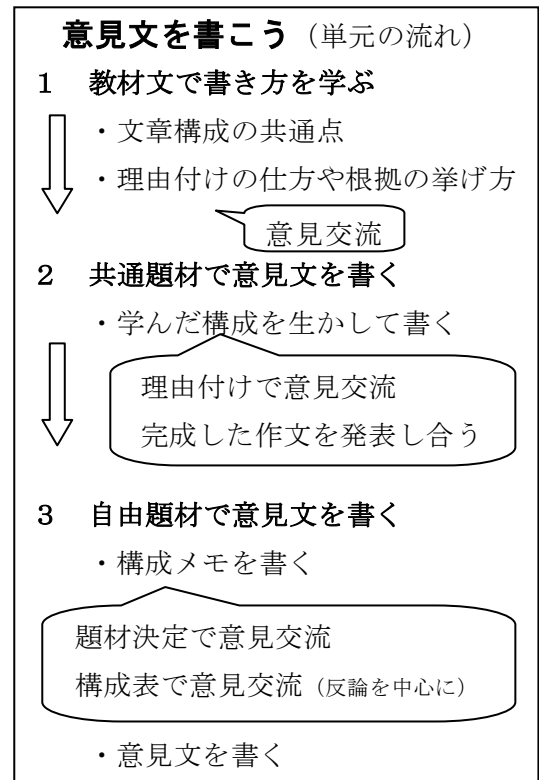
共通題材で練習してから自由題材に取り組むことで、児童自身が自分の力で意見文を書くことができるようにしたい。

1 教材文で書き方を学ぶ

同じテーマに対する四つの新聞投書を読み比べ、その構成に共通点があることを学ぶ。それぞれの書き手の意見やその理由、根拠の違いはあっても、構成は同じであることに気付かせる。気付かせたい共通点は、以下の二点である。

① 全体の文章構成

話題提示→書き手の意見→理由や根拠
→反対意見への反論→書き手の考え



② 理由付けの仕方や根拠の挙げ方

- ・自分の経験を入れる
- ・見たり聞いたりしたことを入れる
- ・具体的なデータを入れる
- ・有名な人の言葉を引用する

ここでは、全体の文章構成を確認する場で意見交流を行う。二つの投書の文章構成の共通点を見つけ、他の二つの投書でもその構成が生かされていることを確かめる場面である。

2 共通題材で意見文を書く

四つの投書の中で自分が最も納得したものを選び、その理由付けを意見文の形で記述する。学んだ文章構成を使って書いていく。

ここでは、意見交流の場を2回設定する。同じ投書を選んだ者同士で理由を交流する場と完成した意見文を発表し合う場である。完成した意見文を発表し合う場は、異なる投書を選んだ者でグループを作り、興味をもって相手の意見を聞けるようにする。

3 自由題材で意見文を書く

自分が選んだ題材で、構成を考えながら意見文を書く。

ここでは、意見交流の場を2回設定する。題材決定の場と構成表の検討場面で意見交流の場を設定する。題材決定の場では、自分の考えについて友達はどう考えるのかの意見をもらう。構成表の検討場面では、予想される反対意見とそれに対する反論が適切であるかどうかについて意見をもらう。

(4) 単元の実際

○ 共通題材で意見文を書く学習

ここでは、四つの投書の中で最も納得したものを選び、学習した構成【自分の考え→理由→反対意見への反論→まとめ】で簡単な意見文を書かせた。

同じ投書を選んだ者同士でグループを作り、なぜその投書に納得したのかを意見交流する時間をとった。この話し合いは、短時間であったが理由付けを確認するには効果的であった。「○○だよね。だって～」という型で自然に理由付けを述べることができていた。

また、話し合いで出た意見を全体に紹介し合うことにより、自分と異なる意見の人はどのように考えているのか（反対意見）を知ることもできた。

共通の題材で取り組んでいるので、意見交流がスムーズに行われた。また、書くことを苦手とする児童にとっては、友達の作文が即モデル文となるので、どのように書けばよいかを知る手がかりとなった。

○ 自由題材で意見文を書く学習

自由題材で意見文を書く学習では、題材決定の場面と構成表の検討場面で意見交流の場を設定した。題材決定の場面では、日頃の生活の中で経験したことや感じたことを二つ以上持ち寄って、意見交

The image shows a handwritten student opinion text on a grid background. Above the text are six callout boxes with labels: 'まとめ' (summary), '反論' (counter-argument), '見への意' (view/opinion), '反対意' (opposing opinion), '理由' (reason), and '意見' (opinion). The text is written in Japanese and discusses the topic of 'winning' (勝利). The student expresses their opinion on winning and provides reasons and counter-arguments.

流をさせた。説得力のある意見文を書くには、まず自分の意見を明確にする必要がある。友達との意見交流で、賛成意見をもらって自分の意見を明確にしたり、反対意見をもらって新たな理由付けを行ったりする姿が見られた。

題材を決定した児童は、意見文の構成表を作成した。意見文を書く際には、理由付け、予想される反対意見への反論が独りよがりな内容でなく首尾一貫しているかどうかが重要である。そこで、完成した意見文での検討ではなく、構成表の段階で話し合う時間を取った。

理由付けや根拠として友達にアンケートをとり、より客観性をもたせることなどをアドバイスし合う姿が見られた。

- 自由題材での意見文のテーマ
- ・女性も仕事をするべきだ
 - ・メールより言葉で直接伝えた方がよい
 - ・メールよりも手紙がよい
 - ・手書きを見直そう
 - ・暑い夏は、和室で過ごした方がよい
 - ・子どもにも携帯電話は必要（必要ない）
 - ・過剰な照明は見直すべきである



書くことが苦手な児童も、友達の意見を聞きながら構成表を見直すことができた。

自分(まご)	予想される反対意見と、それに対する反論		意見の理由や根拠		自分の意見		構成
	反論	反対意見	2 理由や根拠	1 理由や根拠	意見	きっかけ	
<p>話し合いから、追加されたメモ</p> <p>どんなにメールがはやくても心のこもっている手紙がよいと思っ</p>	<p>書く方がメールみたいにきめられた字、絵文字いなくて、きめられてない文字がかけ</p> <p>その人らしくていい。</p>	<p>メールは打つのが早くて、かんたんだと二人もいる。</p>	<p>友達に聞いてみたところ、手紙がいいところ、えこくた。理由は、手紙のほうがいいこともっている感じがするから。</p>	<p>メールだとあまり気持ち伝わらないから。</p> <p>手紙だと、その人らしい字で遠くたいでも思いだせるから。</p>	<p>思いがよく伝わる手紙がよい。</p>	<p>何かを伝えるときは、メールか手紙か。</p>	<p>簡単な内容</p>

友達の意見を聞く視点をもらった。

理由付けを詳しく記述できた。

3 おわりに

書くことを苦手とする児童の多くは、その理由として「何を」書くか、「どう」書くかが分からないと答える。このような児童にも自信をもって書く活動に取り組んでほしいと願って、本実践を構想した。共通題材で練習し自由題材に挑戦する学習過程を踏んだこと、単元の中に意見交流の場を意図的に設定したことにより、子ども同士が学び合う中で、「何を」書くか、「どう」書くかをしっかりと意識させることができた。

子ども同士の交流の場を多く設定したことは、書くことに自信をもてない児童にとって効果的であった。特に、共通題材で練習する段階での意見交流は、交流が活発に行われた。また、ここでの経験が次に自由題材で書く意欲につながった。自由題材で書く活動では、記述前の構成表の段階での意見交流が有効であった。友達の見解を参考にして自分の構成表を見直す活動を設けたことにより、自分の書きたいことをしっかりと意識して記述することができた。

意見文の題材、根拠となる事実の選び方など、より説得力のある意見文にするには課題も残るが、書くことの楽しさを感じさせながら書く力を伸ばしていきたいと考える。

<完成した意見文>

1

文字で伝えるが、言葉で伝えるか	私たちのまわりには、メールなどの機械が	たくさんあります。私もメールはしませんが、	そこで困ったことがあります。それは、意味	が分からず、どう思っているのか、あからな	かっただことです。私は、そういうときに、言	葉で本当のことと聞きたくなり、だから、	私は言葉で伝えた方が、いいと思います。	なぜなら、メールなどの文字は、一文字で	誤解をまねいてしまうことがあるからです。	そして、すぐに話せないと、その誤解を解く	こともできず、迷った方も、受け取った方も	ずと、いかな思いや、悩んでいる思いを、	かえていなければいけない。それは、あた	がいの負担になっ、てしまいます。	さらに、メールで、思いが伝わらず、困	たことがある人は、大人や四人でした。半分	以上が、困ったことがあります。	メールだと、はずかしくないし、絵文字を
-----------------	---------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------------	------------------	--------------------	----------------------	-----------------	---------------------

2

つけたりすれば、意味をまちがえることもな	いと言っているかもしれない。たとえそ	うでも、言葉で言うから、その伝わることもあ	ります。それに、言葉なら、声のトーンで伝	えることが、表情で分かることもあります。	楽しいのが、あつていっているのか、悲しいのか	く予いのか、しんけんなのか。これは、	実際に顔を見て話をするので、伝わりませ	るので、すぐに聞いたり、言ったりできると	で、気持ちもずきりしきり。そのほうが、	思いが何よりもいいし、後がらもやりし	りたしません。	私は、人に本気で大切なことを伝えたいと	きは、言葉で言った方がいいと考えます。そ	の方が、自分も相手もずきりした気持ちで	いびます。
----------------------	--------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	------------------------	--------------------	---------------------	----------------------	---------------------	--------------------	---------	---------------------	----------------------	---------------------	-------

女性も仕事をすべきか

最近の女性は、働く人が多くなっています。私の両親は共働きです。共働きだと、学校から私が家に帰ると、家にはだれもいなかったりしますが、私は、女性も働くべきだと考えます。

なぜなら、二年前に使っていたカレンダーに、「男性は仕事、女性は家事だけ」というのは差別だ」というようなことが書いてあったからです。私も、その通りだと思っています。「女性には家事」と決めつけるのは、よくないと思います。

それに、女性は家事だけでなく、人と接する機会が少なくなると思います。家事は、家のことをやる仕事なので、買い物くらいしか、外に出ることもなくなり、外に出ることが少なくなったり、人と接する機会がなくなると、悩みを打ち明けることもなくなり、ストレスがたまったりしてしまいます。スト

レスがたまらないようにするためにも、女性も仕事をするのがいいと思います。

女性はやはり、家のことをし、かりやることが大切なのではないかと考える人もいるかもしれません。確かに、仕事で家事ができなくなると、家が片づかなくなったりしても困ります。しかし、パートぐらいなら、働きながらでも家のことができると思います。それに、もし女性が仕事でいそがしくて家事ができなくても、男性が手伝ってあげればいいのです。

私は、「男性は仕事、女性は家事」と決めつけられないで、男性も女性も、仕事も家事もできるようにしたらいいと思います。仕事と家事の両立はむずかしいと思いますが、私は、共働きをするべきだと考えます。